

## 3月議会議決について

○3月定例会には、行政側から43議案が出され、うち、平成24年度一般会計予算、税条例の改正、平成23年度補正予算の3議案について、複数議員から反対意見がありました。

### 私はこの3つの議案に反対しました。論点は次の通りです。

#### 私の論点!

### ●給食センター関連

#### ・建設費約24億の財源は?

#### ・管理費3億2千万円の財源は?

#### ・民間委託でよいのではないか。

#### ・期日にあわせるのは疑問では?

#### ・ライフサイクルコスト計算は?

### ●市民税増税について

#### ・市でねん出できないか?

#### ・国が決めることがないか?

#### ・市でねん出できないか?

#### ・税は住民が決めるべきでは?

### ●防災無線に関して

#### ・3億円以上の随意契約は問題

#### ・特定事業者しかできないシステム

#### ・自由な入札と分割発注で、市内業者参入をしやすくしては?

### まったくの反対ではなく

#### セントー建設の財源は、国な

#### ども補助、基金取り崩し、市債の発行などです。多くの公共施設改修や維持の課題がある中、市は考えを整理すべきです。

年間3億円以上の運営管理費

## 2012年度所属委員会について

### 産業建設常任委員会(委員長) 鈴鹿亀山広域連合議会 広報広聴委員会

常任委員会は今期から新しく組み替えられています。今期は産業建設委員会に所属し、その初めての委員長に就任することになりました。聴く、話し合う、行動するを大切に、特定の意見に偏らないスタンス、公平な行動をとりたいと考えています。

鈴鹿亀山広域連合議会は昨年から継続です。介護予防や地域医療の分野など、一般質問を活用して、鈴鹿と亀山の連携を投げかけたいと考えています。

広報広聴委員会は前期、議決に関してや広報活動について意見を出しました。今回2期目として、さらに広報の部分で提案したいと考えています。



つぶやき

は30年近く続くことになり、少子高齢化と人口減少、右肩上がりの成長は見込めない中、予算への上乗せは難しい課題です。

民間への事業委託で、平成27年までに可能ではないか。自校方式なら、高齢化に向け地域配食サービスや災害時の炊き出し散が検討できるのではないか。

教育委員会の説明では、これらに対する検討が説明不足であり、賛成できませんでした。

つても、その選択は、地域の住民意識に委ねられるべきです。

## 提言は届かず

### 防災無線について、担当課に

随契でなく一般競争入札とすることなど、改善に取り組むよう働きかけました。議決前の予算

決算委員会での討論でも、論点についての改善を求めるとして反対討論をしましたが、対して市側の動きはなく、やむなく補

正予算に反対としました。

反対討論をしましたが、対して市側の動きはなく、やむなく補正予算に反対としました。

市側の動きはなく、やむなく補正予算に反対としました。

### 市民税増税に反対

### 市の予算提出に苦

議案第14号、市民税の5百円増税に反対。消費税増税が議論の中、国が一方的に住民への課税を求めるとは、地方自治の観点から見過しきません。

また、均等割での増税となることから看えると、市民に情報を開示し、その上で判断をすべき。災害対策のための増税であることを開示し、その上で判断をすべき。

議案第14号、市民税の5百円増税に反対。消費税増税が議論の中、国が一方的に住民への課税を求めるとは、地方自治の観点から見過しきません。

また、均等割での増税となることから看えると、市民に情報を開示し、その上で判断をすべき。

### 公共施設マネジメント白書について

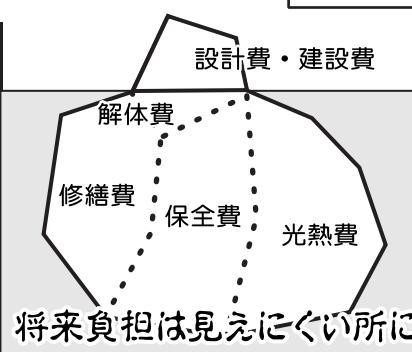
### ひびきではなく

公共施設の現状と今後の維持方針について、今後どのくらい修繕が必要な建築物やインフラがあるのかを整理することは、重要な課題です。行政だけではなく、議会も市民も状況把握すべきと考え質問しました。

### 建物のライフサイクルコスト

※ライフサイクルコスト

ある建築物について、建設から維持管理、改修や解体まですべてを含めていくら必要かということ。



### 全体の把握が急務

施設建設の際、設計費や建設費だけに意識が向かいがちですが、維持管理費や修繕費などが

### 危機意識をもつて

と考えるライフサイクルコストの視点が必要と指摘し、行政側の意識を問いました。

### 参考】 平成24~33年度までの1億円以上の事業予定について (教育委員会と文化振興部)

#### 【参考】 平成24~33年度までの1億円以上の事業予定について

(教育委員会と文化振興部)

#### 《教育委員会》

平野田中移転改築、つり天井改修(小4校、中2校)、仮設教室貸借分、栄小体育館・プール改築、河曲小学校大規模改修、河曲小体育館改築、石薬師小学校大規模改修、白子中校舎改築、白子中武道場新築、桜島小校舎改築、牧田小体育館改築、庄野小体育館改築、稻生小校舎改築、大木中校舎改築、大木中武道場新築、箕田小校舎大規模改修、箕田小プール移転改築、白子小校舎大規模改修、桜島小校舎大規模改修、鈴峰中校舎大規模改修、鈴峰中武道場新築千代中校舎改築、千代中武道場新築、明生小校舎大規模改修、創徳中校舎大規模改修、創徳中武道場新築、神戸小校舎大規模改修、学校給食センター施設整備幼稚園再編整備、新学校給食センター運営、教育情報化推進事業(電子黒板、校内LANなど)… 合計32事業

#### 《文化振興部》

市民会館耐震化整備、市民会館施設改修等整備、文化会館つり天井及び内外壁耐震整備、文化会館設備改修・更新、栄公民館・地区市民センター建設、牧田公民館・地区市民センター建設、公民館男女トイレ等整備、公民館施設改修、市立体育馆く体調査および武道館つり天井改修、市立体育馆施設・設備改修、サッカー場造成、史跡伊勢国分寺跡保存整備史跡伊勢国分寺跡保存整備… 合計13事業

この他、プール修理など1億円以下の事業があるのはもちろん、橋や道路、水道や下水道などのインフラも同じようになっています。維持と更新は大きな負担になります。

ちなみに調査では、今後10年の1億以上の事業をぜんぶあわせると、

**680億1697万4000円**が必要と試算されています

## ⇒これから出てくる注目条例案

6月議会以降、議会に提出されてくる予定の条例案に、「鈴鹿市まちづくり基本条例(仮)」と「鈴鹿市議会基本条例(仮)」があります。まちづくり基本条例は、地域活動や市民活動など、これから市民と行政がどのようにまちづくりを行っていくかを定める理念条例です。議会基本条例は、二元代表制や開かれた議会など、これから鈴鹿市議会のあり方を定める条例になります。どちらも住民自治と関連していく条例ですので、ぜひご関心をお持ちください。